

「地域資材を活用した古民家改修手法の実践的提案」

滋賀県長浜市の田根地区において、地域活性化を図ったプロジェクトであり、2013年7月24日から8月11日までの17日間、古民家の改修や地域住民との交流を図るイベントやワークショップなどの活動を行った。

N 邸 - 地域活動拠点 - フレキシブルな活用ができる空間に

地域活動拠点として利用できるようにするため、当時放置されていた2階の改修を行った。床が軟弱かつ汚れがひどかったため、天井板を外し床に敷くことで床材を強くした。また、空き家に放置されている木材や家具を使い、居場所となるようなインテリアを作った。改修を行った後、利用方法の提示として、ワークショップで作成した小さな小屋や研究室の活動パネル、書籍などを展示し、地域の方々に開放した。



U 邸 - 短期宿泊施設 - 現代のライフスタイルに合わせる

持続的な社会システムを構築する上で重要となる若者の移住者を募るため、現代のライフスタイルに合わせた住空間を創出する必要がある。今回行った改修では、昔ながらの生活を目指して来た人々が納得するような古民家らしさをつくるため、朽ちている部分の補強や塗装することで全体的な統一感をつくり、古民家らしさの増幅を図った。



Renovation



仮設トイレの仮設の囲い

Temporary Architecture

夏かぎりの、二つの展覧会

田根坐「古民家ミュージアム」は、田根坐の歴史と文化を伝えるための施設として、2013年7月にオープンしました。この施設は、古民家の改修によって生まれ、地域の活性化を図るための拠点として活用されています。

VOL.1 タネのこれから展

タネのこれから展は、田根坐の歴史と文化を伝えるための施設として、2013年7月にオープンしました。この施設は、古民家の改修によって生まれ、地域の活性化を図るための拠点として活用されています。

VOL.2 タネノネタ展

タネノネタ展は、田根坐の歴史と文化を伝えるための施設として、2013年7月にオープンしました。この施設は、古民家の改修によって生まれ、地域の活性化を図るための拠点として活用されています。

古民家ミュージアム

空き家の離れを活用して、地域住民が地域の現状と将来について知ってもらいミュージアムを開催した。田根坐ガーデンの際に発表したものを展示し、来て頂いた人とお話をする機会を設けることによって、フィールドワークを頂いた。



木であそぶ！ 8/4

子ども向けワークショップ

みんなであかりを作ろう！

木で作ったあかりを、田根坐の歴史と文化を伝えるための施設として、2013年7月にオープンしました。この施設は、古民家の改修によって生まれ、地域の活性化を図るための拠点として活用されています。

田根坐「古民家ミュージアム」は、田根坐の歴史と文化を伝えるための施設として、2013年7月にオープンしました。この施設は、古民家の改修によって生まれ、地域の活性化を図るための拠点として活用されています。

子ども向けワークショップ

研究室が行っているプロジェクトであるベニヤ合板を使った小さな小屋や灯りのオブジェの作成をワークショップとして行った。子どもと親御さんに対し、大学が行っている活動を認識してもらうことで、地域活性化の活動に協力をしてもらい、次のステップに繋げることを目的とした。

田根坐 ガーデン ニューズ

田根坐「古民家ミュージアム」は、田根坐の歴史と文化を伝えるための施設として、2013年7月にオープンしました。この施設は、古民家の改修によって生まれ、地域の活性化を図るための拠点として活用されています。

田根坐「古民家ミュージアム」は、田根坐の歴史と文化を伝えるための施設として、2013年7月にオープンしました。この施設は、古民家の改修によって生まれ、地域の活性化を図るための拠点として活用されています。

田根坐ガーデン

空き家を改修し地域の活動拠点となっているU邸にて、地域住民やMITと同志社大学の学生との交流を図ったイベントである。また、地域再生プロジェクトのための研究発表を行い、他事例からみる過疎の現実の問題と解決手法の検討を行った。

Event